

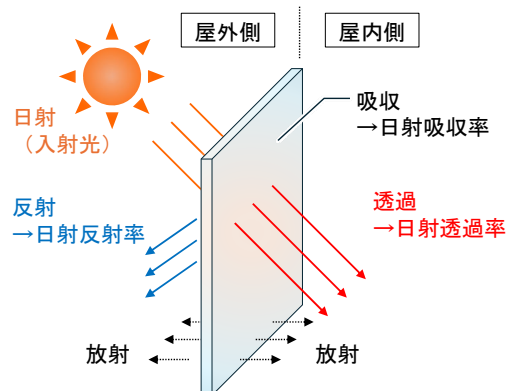
ガラスおよびフィルムの熱性能試験



日射・可視光線・紫外線の波長域における光学特性を測定し、熱性能を算出します。

ガラスおよびフィルム等の熱性能

各種ガラスやガラス用フィルムの熱性能として、断熱性や日射取得性(日射遮蔽性)があります。これらは熱貫流率や日射熱取得率により表され、特定波長域の光線を照射して測定された分光透過率および分光反射率から求めることができます。



日射透過率、反射率、吸収率のイメージ

各種ガラスおよびフィルムの品質試験

各種ガラスやガラス用フィルムは、種類に応じた性能を満足する必要があります。各 JIS 規格において性能表示や品質基準が規定されている項目を以下に示します。

項目	種類				
	熱線吸収板ガラス (JIS R 3208)	複層ガラス (JIS R 3209)	光学薄膜付きガラス (JIS R 3221)	耐熱強化ガラス (JIS R 3223)	建築窓ガラス用フィルム (JIS A 5759)
可視光透過率	—	—	—	●	● (日射調整フィルム、低放射フィルム)
可視光反射率	—	—	● (低反射ガラス)	●	—
日射透過率	—	—	—	●	—
日射反射率	—	—	—	●	—
日射吸収率	—	—	—	●	—
紫外線透過率	—	—	—	—	● (日射調整フィルム)
日射熱取得率	●	●	● (熱線反射ガラス)	●	—
垂直放射率	—	—	●	—	—
遮蔽係数	—	—	—	—	● (日射調整フィルム、低放射フィルム)
熱貫流率	—	●	—	●	● (低放射フィルム)

●: 性能表示(または品質基準)が要求されている項目

【関連規格】 JIS R 3106 板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法

JIS R 3107 建築用板ガラスの熱貫流率の算定方法

JIS R3208、JIS R 3209、JIS R 3221、JIS R 3223、JIS A 5759 等